

表彰会社の評価ポイント

1. ディスクロージャー表彰

(1) アサヒビール(株)

決算短信では、目標とする経営指標について具体的な数値が明示されており、また、業績予想についても、セグメント別・連結対象会社別の記載に加え、利益増減要因についても詳細な分析を記載しているなど、丁寧な開示が図られている。

株主に対し、四半期毎に事業報告書(「アサヒスーパーレポート」)によるきめ細かな情報提供が図られている。また、自社ホームページにおいて、財務指標の推移等の多彩なデータがタイムリーに提供されており、積極的な情報発信に対する意識の高さがうかがえる。

(2) カゴメ(株)

決算短信では、主要な経営指標につき、直近5年分および次期予想値を含めた推移が記載されており、関係会社の業績についても、詳細に記載するなどの充実した開示内容になっている。また、財務諸表の内容についても、利益分析など幅広いデータが提供されている。

自社ホームページでは、豊富なデータがわかりやすく整理・開示されており、また、社会・環境報告書では、インタラクティブな情報発信を可能とするなどの独自の工夫もなされている。

(3) 日本たばこ産業(株)

決算短信では、各事業セグメントにおける対処すべき課題について、グループミッションを軸にわかりやすく構成・整理されており、訴求性の高い内容となっている。また、決算短信に決算説明会資料を添付し、当該資料において、主な財務数値の実績値および予想値の増減要因についても詳しく説明する等、より説得性のある開示内容となっている。

業績報告書、アニュアルレポート等の内容も充実している。また、自社ホームページにおける情報提供も、音声付決算説明会資料の掲載など、充実した内容となっている。

(4) 昭和電工(株)

決算短信では、新たに策定した中期経営計画に基づく経営目標が、計数目標として明示されており、また、経営成績、業績見通しについても事業セグメント別に詳述するなど、明確かつわかりやすい記載がなされている。

自社ホームページ掲載の決算説明会資料では、業績推移および今後の見通しが、グラフ表示の活用等によりわかりやすく記載されている。また、設備投資、減価償却等についてもセグメント別に記載されているなど、開示に対する積極的な姿勢がうかがえる。

(5) (株)マンダム

決算短信では、「成長性」を中核とする会社の中長期的な経営戦略およびその進捗状況について具体的に記述されている。また、利益配分や経営指標に関する目標についても、具体的な数値目標を設け、明確かつわかりやすい記述がなされている。

アニュアルレビューでは、コーポレートガバナンスに関し、監査役の活動状況等についても記載されている。また、社会・環境コミュニケーションレポートでは、抽象的表現にとどまることなく、環境活動の目標と実績を比較評価する等の具体性を示す工夫が見られる。また、自社ホームページでは、決算短信・アニュアルレビューなどの各種情報が提供されているが、なお一層の充実、利用者の利便性に関する工夫が期待される。

(6) リコーリース(株)

決算短信では、目標とする経営指標およびその目標値が明示されている。また、中長期的な経営戦略の進捗状況および新たに策定された中期経営計画についても、かかる指標・数値をふまえた説明がなされているなど、明確かつわかりやすい開示内容となっている。

事業報告書では、事業内容・財務状況等につき、図表を活用したわかりやすい記載がなされている。また、決算説明会資料では、業績見通しについて、事業セグメント別の数値データなど、詳細な情報開示がなされている。また、自社ホームページでは、個人投資家に対する社長メッセージを掲載するなど、情報提供も充実している。

(7) (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ

決算短信では、決算ハイライトの記載や業務概況の説明における表形式の活用など、わかりやすく工夫された記載がなされている。また、重要な経営指標とその目標値、保有自己株式の具体的な償却見込みを提示するなど、開示内容が大変充実している。

アニュアルレポート等による情報提供について、質量ともに充実した開示内容となっている。また、ドコモ通信や自社ホームページにおける「ドコモ早分かり講座」などをはじめとする個人投資家を意識した情報提供など、積極的なメッセージの発信にも力が注がれている。

2. 個人株主拡大表彰

(1) キーコーヒー(株)

個人株主数は、10年以上の長期にわたり増加を続けており、特に直近決算期では3年前の2倍以上の水準に達している。

個人株主拡大を資本政策上の重要な課題と明確に位置付け、株主優待制度の拡充、売買単位の引下げなどの施策を継続的に推進している。また、株主総会動画情報の自社ホームページへの掲載、インターネット経由での議決権行使を可能としていることなど、インターネットを用いた株主を重視する取組みを行っている。

(2) サイバーエージェント(株)

個人株主数は3期連続で増加した結果、3期前の約1,000人から22,000人超の大幅増となっている。

株主総会の休日開催や四半期毎に個人投資家向け説明会を実施していることに加え、個人投資家向けのIRサイトやブログを通じた積極的な情報発信や、株主アンケートの活用などによる双方向のコミュニケーションを実現するなど、個人株主を意識した工夫が随所に見られる。また、自社ホームページにおいては、決算説明会動画情報や株主総会招集通知・株主総会動画情報の配信、インターネット経由での議決権行使機能の提供などを行っている。

(3) 三菱商事(株)

個人株主数が2期連続で増加しており、特に、直近決算期においては、直前期の2.6倍近い水準(15万人以上)に達するなど、大幅に増加した。

経営トップによる個人投資家向け会社説明会の開催や、個人投資家向け専用のIRサイトの開設、など、個人投資家を重視した各種施策にも積極的に取り組む姿勢が見られる。また、「三菱商事インターネットTV」による決算説明会動画情報や株主総会招集通知・株主総会動画情報の配信、インターネット経由での議決権行使を可能としていることなど、インターネットを用いた取組みに力を入れている。

(4) カブドットコム証券(株)

個人株主数が、直前決算期の2倍以上、約2万5000人増加し、約4万5000人となった。また、株主優待制度として、株式委託手数料の割引制度を導入するなど、個人株主拡大に向けた独自の取組みがなされている。

株主総会を休日に開催し、パネルディスカッション併催することや、四半期毎に各地で個人投資家向け経営報告会(「カブ四季総会」)を実施するなど、個人投資家との積極的なコミュニケーションを図る取組みを行っている。また、株主総会招集通知や株主総会動画情報の自社ホームページへの掲載、インターネット経由での議決権行使を可能としていることなど、インターネットを用いた株主を重視する取組みを行っている。

(5) フジ住宅株

個人株主数は、3期連続して増加しており、3期前と比較して倍増する一方、個人株主の保有比率も約65%と高い水準で推移している。

個人投資家向け会社説明会を10年以上前より他社に先駆けて実施しており、近年では年10回以上のペースで開催し、個人投資家への積極的な情報発信を図っている。事業報告書等の開示情報についても、個人投資家を念頭に置いたわかりやすい記載がなされている。また、個人株主アンケートの回答者にユニークな景品を送付するなど、個人株主との地道なコミュニケーションに取り組んでいる。

(6) 全日本空輸株

個人株主数が3期連続で増加しており、特に、直近決算期においては、直前期より6万人以上の大幅増となっている。また、株主優待券の発行基準の引下げによる株主優待制度の拡充など、個人株主拡大に向けた取組みがなされている。

四半期毎に決算説明会の開催、株主向け事業報告書(ANA VISION)の発行を行う他、株主アンケートを実施するなど、個人投資家を意識したIR活動に積極的に取り組んでいる。また、自社ホームページにおいて、自社を担当・分析しているアナリスト名簿の掲載、インターネット経由での議決権行使を可能としていることなど、インターネットを用いた取組みを行っている。

3. ディスクロージャー新人賞

(1) グリーンホスピタルサプライ(株)

決算短信では、事業セグメント別に、会社の対処すべき課題ならびに中長期的な経営戦略の内容が丁寧に記載されている。また、利益配分に関する基本方針についても記載されており、今後とも開示内容の充実やその他の IR 活動への積極的な取組みが期待できる。

事業報告書では、主要な経営指標の推移がグラフ形式にて表示され、また、財務諸表の内容にわかりやすい解説を付記するなど、読み手に配慮した工夫が図られている。

(2) (株)ワコム

決算短信では、経営成績を事業セグメント別および地域別に分析した内容を記載しており、また、事業等のリスクに関しても、詳細かつ具体的に記述されているなど、開示に積極的な姿勢がうかがえ、今後とも開示内容の充実やその他の IR 活動への積極的な取組みが期待できる。

事業報告書では、中期経営計画の概要や、財務指標の記載についても、数値による明確化と同時に、ビジュアルでわかりやすい工夫がなされている。